

碧

祥

左右対称に

左右対称に

空

雲

止めから上へ

止めから上へ

隸書

後漢時代の石門頌・之瑛碑・礼器碑  
史晨碑・西狭頌・曹全碑・張遷碑  
などを参考にしている。  
横画の収束に波磔を備えたものと、特に  
八分という。起筆は蔵鋒、字型は方形、又は  
扁平に、左右対称に、ゆったり重厚に書く

祥雲碧空に麗なり

新年のおめでたい雲(祥雲)が晴れ渡った空(碧空)に  
あらわれた、澄んで美しいようす。

(金幼孜の語)